

2014年9月30日

(匿名S氏)

頂いたご意見

日本原子力学会 倫理委員会 事務局御中

この度は、社会的状況の厳しい中、数々の意見を集約頂き、立派な倫理規定をご提案頂きありがとうございます。

関係各位のご尽力に敬意を表します。

意見と言うほどのものではありませんが、気になるところを下記に記します。

1. やはり、前文に「原子力の潜在する危険性を認識する」等のこれまで諸先輩がまとめ、入れていた趣旨を入れるべきではないでしょうか。そうすることで、一般の方や社会に対しても、学会は、原子力の特性を重く意識していることを表明することになるのではないのでしょうか？ひいては、社会の学会に対する信頼感が少しでも増すのではないかと期待致します。

具体的具体的には、前文の「……同時に、本学会会員の展開する諸活動には、技術だけでは解決できない問題も少なくない。」の後に続け、2-1の文を活用して下記のように挿入、修正したら如何でしょうか？

「会員は、過去の原子力災禍がもたらした社会への影響を絶えず思い起こし、原子力が潜在的に持っている危険性を十分に認識する。もって常に現状に慢心せず、過去の災害や事例から広く学ぶ姿勢を持ち、より高次の安全と、豊かで安心できる社会の実現に向けて、積極的に行動する。」

2. 2-3「……核拡散に寄与することがないように……」は、「……核拡散に加担することがないように……」のほうが適切ではないでしょうか？(マイナーです)

色々なコメントが出るとはと思いますが、取り纏め頂き、皆が「自分たちの倫理規定」と愛着の沸くものとなることを祈念致します。

頂いたご意見に対する委員会の見解

1. ご提案を検討した結果、倫理憲章の趣旨をより強く、また、より具体的に示すという視点から有効であると考え、倫理憲章に反映することとしました。

この変更に伴い、「過去の災害や事例から」の部分を変更し、「過去の事例から」と変更します。

「会員は、過去の原子力災禍がもたらした社会への影響を絶えず思い起こし、原子力が潜在的に持っている危険性を十分に認識する。もって常に現状に慢心せず、過去の災害や事例から広く学ぶ姿勢を持ち、より高次の安全と、豊かで安心できる社会の実現に向けて、積極的に行動する。」

2. ご指摘のとおり、核拡散というマイナス面に対する言葉としては、寄与ではなく、加担が適切であり、変更します。